

『わかりやすい英語論文を書くためには』

生理学講座 田中永一郎

私達、日本人が英語を使ってわかりやすい文章を書くことは、「英語の思考」に切り換えねばならず、日本語で書く以上に大変な作業である。

しかしながら、グローバリゼーションが叫ばれる昨今、世界に向け情報発信するには、研究成果を英語論文で発表する必要がある。そこで、どうすれば、読者にわかりやすい英語論文を書くことができるか、その指針をまとめてみた。

1. 説明文と論文構成

英語の説明文には以下の3種類がある。

- 1) Narration (事件について起こった時系列に沿って説明した文)
- 2) Description (何か観察する場合、客観的な事実を中立的に述べた文)
- 3) Exposition (自分の意見を入れながら説明した文)

英語論文は下記の構成で書かれる。それぞれの構成要素が上述の3種類の説明文のどれに当たるか意識していただきたい。

Title
Abstract (Description & Narration & Exposition)
Introduction (Description)
Materials and Methods (Narration)
Results (Description)
Discussion (Exposition)
Conclusion (Exposition)

2. 論理展開とパラグラフ

英語の論理的な文章展開は、「問題提起」、「展開部分」、「まとめ」で終了する。論理的なまとまりを持った文章は、まず大きな枠組みを捉え、だんだん細部へと絞り込んでいくように書くことが原則である。あるテーマについての幾つかの文の集積をパラグラフという。パラグラフは以下の要素で構成される。

第1文: Topic sentence

第2文以降 (3文程度): Supporting sentence

最終文: Concluding sentence

Topic sentence ではトピックが何かを述べる。次に、supporting sentence で、トピックの背景、問題点、別の意見、裏付け情報を述べ、最後に、concluding sentence で書き手の意見を述べると共にパラグラフを要約する。

3. わかりやすい論文の書き方

第1に、論文(作文)の書き方について述べる。

- 1) Planing your writing (作文の計画を立てる)
- 2) Writing the first draft (原稿を書く)
- 3) Revising the draft (原稿を吟味する)
- 4) Proofreading (校正する)
- 5) Publishing (出版する)

1) Planing では、どのような読者集団に対し

て何について書くか、まず「テーマ」を決める。次に、どのように順序立てて書くか、「書くべきポイント」を書き出す。この「ポイント」が topic sentence となり、この topic sentence の数がこれから書く論文のパラグラフ数になる。2) Writing では、一つの意見を一つのパラグラフに述べ、パラグラフとパラグラフを繋ぎ、計画に沿って積み上げて論文として形作る。3) Revising では、原稿を書いた後数日経って読み直し、書き直すことを心掛ける。最後に、英語圏の人で研究領域に明るい方に校閲してもらう。

第2に、わかりやすい（論文の）文章を書くためのコツを掲げる。

- 1) One clear idea（人に伝えたい1つの明確な考えを意識する）
- 2) Logical organization（論理的な文章の構成をとる）
- 3) Academic Voice（学術的な言い回し）
- 4) Well-chosen words（言葉を良く吟味する）
- 5) Smooth transition（円滑な移行、接続）

複数のパラグラフが続くときは必ずしも concluding sentence は必要ないが、次のパラグラフに繋ぐ役割を持たせた文を代わりに置く必要がある。一つのパラグラフでは人称、時制に一貫性を持たせ、パラグラフ内で人称を変えない。一般的な事実は現在形、観察や発見したことは過去形で書くことになっているので、これらを一つのパラグラフに入れるときは、” In this study, 過去形文” や” Here, 過去形文” のような繋ぐ言葉が必要になる。

具体的には、introduction は論文全体が扱うトピックを指示し、論文を何のために書くか明らかにする役目がある。Materials and methods, results, および discussion は論文のボディーに相当し、トピックを支える事実を述べる。それぞれの中に、さらに小さなパラグラフが多数詰まった構成になっている。Conclusion は論文全体のコンクルージョンで、introduction の要約あるいは言い換えが求められている。また、書き手の最終的な意見を述べる部分でもある。以上、読者にわかりやすい英語論文を書く指針をまとめてみた。読者の英語論文作成に役立てて頂ければ幸いである。



学位申請について(事務通信)

学生注目!!

修士課程2学年並びに博士課程4学年学生の方々は、そろそろ学位論文の提出の季節となります。各位へ通知等をお送りしていますので、必ず一読し、手続き等遺漏なきよう準備を進めてください。

学位申請についての詳しい問合せ先:

医学部事務部庶務課:0942-31-7527(直通) 内線:3014(大学院学位申請担当)

センター通信～大学院学生の皆様へ

先端癌治療研究センターでは、設立10周年を記念して「久留米大学COEプログラムのがん国際フォーラム」を今秋開催する予定です。様々な分野で頑張っている大学院生諸君がこのイベントへ参加して下さることを切に期待しております。(桑野信彦)

久留米大学 21世紀COEプログラム「先端的な癌治療研究の拠点」2005年度国際フォーラム

日 時：2005年11月11日（金）午後

場 所：久留米大学筑水会館イベントホール

講演予定：

Professor Rafael Rosell, MD

Chief, Medical Oncology Service, Scientific Director of Oncology Research

Institut Català d'Oncologia, Hospital Germans Trias i Pujol

Barcelona, Spain

“Role of EGFR in lung cancer”

Professor Hans-Dieter Royer

Center of Advanced European Studies and Research (Caesar)

Bonn, Germany

“Role of YB-1 in breast cancer”



※その他国内で活躍する研究者の講演を予定。

平成17年度 大学院医学研究科特別講義カリキュラム Part2(10～12月分)

| 担当講座 | 日時 | 講演者 | 講義テーマ及び会場 |
|-------------------|--------------------------|--|---|
| 公衆衛生学 | 10月20日（木） 18:30～20:00 | 東京医科大学国際医学情報センター J. PATRICK BARRON 教授 | 英文医学の論文のうまい書き方 及び国際会議での発表の仕方 臨床研究棟2階カンファレンスルーム(1) |
| 生理学 (脳・神経機能部門) | 10月21日（金） 17:30～19:00 | 新潟大学医学部 下地 恒毅 名誉教授 | 硬膜外導出法によるヒト 脊髄誘発電位の基礎と臨床 基礎2号館1階視聴覚教室 |
| 神経精神医学 | 10月28日（金） 17:00～18:30 | 福島県立医科大学医学部神経精神医学 丹羽 真一 教授 | 統合失調症研究とブレインバンク 臨床研究棟2階カンファレンスルーム(1) |
| 高次脳疾患研究所 | 11月1日（火） 16:30～18:00 | 国立精神・神経センター武蔵病院 埜中 征哉 名誉院長 | 筋ジストロフィー研究の進歩 臨床研究棟2階カンファレンスルーム(1) |
| 腎臓内科学 | 11月17日（木） 18:00～19:30 | 佐賀大学医学部腎臓内科 安藤 高志 助教授 | 腎疾患とT細胞 臨床研究棟2階カンファレンスルーム(1) |

平成18年度大学院医学研究科入試要項決定！

試験日程

- 前期（修士・博士ともに同一）
出願受付期間：9月26日（月）～10月7日（金）
試験日：10月18日（火）
合格発表日：11月16日（水）午前10時
 - 後期（修士・博士ともに同一）
出願受付期間：1月30日（月）～2月10日（金）
試験日：2月21日（火）
合格発表日：3月15日（水）午前10時
- ※ 他に出願資格審査期間を設定しているので注意すること。



希望者は是非！

試験内容

- 修士課程：（基礎医学群・社会医学群・分子生命科学群・臨床基礎看護学群）
→ 英語・小論文・面接
（バイオ統計学群）
→ 英語・面接
- 博士課程： 英語・面接

出願資格・出願手続き等

本学大学院医学研究科ホームページ、若しくは各課程平成18年度募集要項にて確認のこと。
ホームページ：<http://www.med.kurume-u.ac.jp/med/gmed/index.html>

平成17年度大学院医学研究科博士課程個別最適医療系 基礎科目授業計画(後期関係分)

| 科目名 | 第1回講義 | レポート提出有無 | 場所 | 問合せ・担当教員先 |
|-----------------|-----------|---------------------------|------------------|------------------------------|
| 臨床研究と生命倫理 | 10月20日（木） | 当日欠席した場合は別途論文を読み、レポートを課す。 | 臨床研究棟カンファランスルーム1 | 産婦人科学講座（嘉村教授） |
| プロテオーム／ペプチドーム解析 | 12月13日（火） | あり（レポートと講義の2本立て） | 臨床研究棟カンファランスルーム1 | 分子生命科学研究所・0942-37-6315（諸井教授） |
| 免疫関連分子とTcRの多様性 | なし | あり（担当者ごとのレポート提出有） | | 担当者ごとに問い合わせをおこなう。 |

編集後記

秋風が吹き、今年度も半年が過ぎました。季節の変わり目ですので体調に気をつけつつ、今こそ研究に弾みをつけていただけたらと思うこのごろです。（俊）